

清里—マレーシアでTV会議

環境保護 児童が意見交換

日本とマレーシアの小学生がテレビ会議システムを利用して自然環境について意見を交わすイベント「世界子ども自然クラブ」(キープ・フォレスト・スクール主催)が九—十一日、北杜市などで開かれる。子どもたちは北杜・清泉寮とマレーシア・熱帯雨林発見センターに滞在しながら、それぞれの地域が抱える環境問題に対する解決策を提案。主催者は「子どもたちが広い視野で環境について考えるきっかけにしてほしい」と期待している。

9日から
イベント 気候違う地域と交流

映北申斐

同スクールが、北杜市と気候や生態系が異なる

地域と交流しようと、マレーシア・サバ州森林局の協力を受けて企画。同

二日目は、それぞれの施設で課題に対する解決策を検討。北杜市では周

国の熱帯雨林発見センターの職員が、北杜市のキープ協会で研修したことが縁だった。テレビ会議システムはNECが提供して

加する。初日は、ヤマネの生態や熱帯雨林の動物など、両地域の自然環境を保護する上での課題について双方が意見発表する。

ま、再びテレビ会議でマレーシアの子どもと対面し、イベントの感想を話してもらう。同スクールは「毎年の恒例行事として定着させ、将来的には世界数カ国をつなぐ会議を開きたい」としている。

してくれた。

国内参加者は既に定員に達していて、現在キャンセル待ちの状態となっている。

問い合わせはキープ・フォレスト・スクール、電話0551(48)3795。

イベントには両国の小学四—六年生二十人が参

加する。三月二十九日には、日本側の参加者が都内に集

まる。